

前回検討WGの振り返り

■ ワーキングでの検討事項

- 1 高水敷整備
- 2 河口部の整備
- 3 海水浴場整備
- 4 保安林整備
- 5 排水について

■ 前回検討WGの振り返り

【資料 1 に対する意見】

1 会の運営について

意見 1：検討 WG 議事録は、情報共有として最大限公開して議論のしやすい体制にしてほしい。ファシリテーターについて、WG のような場では不要であるが、全体説明会のような場では必要と考える。

了解事項：これまでの説明会経緯もあるため、県が引き続き司会進行を行う。

意見 2：全体説明会で WG を傍聴できるようにしてほしいという要望があった。

了解事項：非公開との意見が多いため、今後についても非公開とする。

【資料 2 に対する意見】

1 高水敷整備

意見 1：水路で分断されるところは橋で渡れるよう工夫してほしい。

対応：従前の機能は復旧できるよう工夫したい。

意見 2：小泉の地区の人にとっては③の高水敷を広くとった方が良い。多く使うのは③、④、⑤の高水敷。

対応：③、④、⑤が利用の候補。具体案を検討し、次回提示したい。

意見 3：護岸形式について、かごは錆びるので捨石のみでも良いのでは。

対応：工事用の仮設として施工するため、カゴを基本とさせていただく。

2 河口部の整備

意見 1：保安林については松だけでなく広葉樹も植えたらどうか。

対応：前面は、塩に強いクロマツが基本。高木性の広葉樹も混ぜて植える計画もあるが、広葉樹を植える場合は陸側となる。

了解事項：検討については 1 案（既存護岸を残す）を基本とする。

3 海水浴場施設検討

意見：緊急車両が入れる通路を確保した方が良い。

対応：駐車場から海側まで車両が通れるようスロープを設置したい。

4 排水について（樋門配置計画）

意見：土砂堆積を考慮してほしい。

対応：外尾川については水門形式を基本としたい。中島海岸については、背後の地盤を嵩上げし、樋管の敷高を高く設定するよう検討する。

5 その他意見

意見1：河口の導流堤は河口閉塞を起こさないよう工夫してほしい。

対応：専門家の意見も聞きながら検討したい。

意見2：三陸道と国道45号の避難階段について

対応：次回で意見集約したい。

意見3：梨ノ木橋はなるべく早く作ってほしい。

対応：橋台は堤防と同時期となるが、橋桁は堤防の後になる。

意見4：今回の津波高をどこかに表示し、防災意識啓発を行うべき。

対応：海水浴場の駐車場に表示することも検討していく。

意見5：十郎衛門堰は復旧するのか。

対応：担当部署に確認したい。

意見6：船揚場の復旧計画について。

対応：関係者に個別説明で対応したい。

意見7：堤防の緑化について（市より提案）

対応：地元で草刈りをするのは困難。耕作者としては、木が生えるとスズメが増えるので嫌われる。

意見8：検討会のメンバーに土木の先生を入れるべきでは。

対応：土木工学の先生が入っており問題ないとする。

意見9：堤防の安全を確認するため、検討会に構造の先生が必要では。

対応：技術基準が確立しており問題ないとする。

意見10：代替案のシミュレーションをかけていただきたい。

決定事項：「全体会で県から代替案の説明があった。4案検討して今の案が最適との結果なので、これ以上シミュレーションを行っても時間がかかるだけであり、復旧が進まない。役員の総意としては、死者が出た現場でもあるので早く進めて欲しい。」との提案がWGメンバーからあったことから、参加メンバーの総意として実施しないことを決定。